

# 春ブロッコリー

やさいの里営農センター 営農指導員 中村 克己

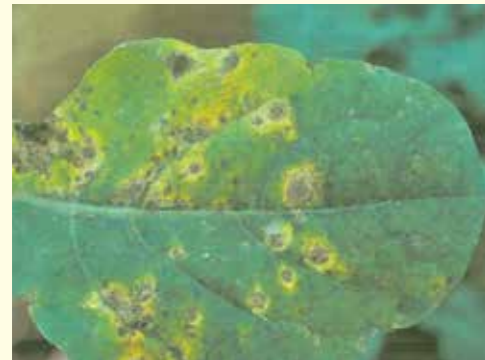


写真2 黒すす病(葉の病斑)

病原菌はカビの一種で、前年の被害残渣や、種子で越冬伝染します。気温25℃前後の時、降

## 黒すす病

本年度の春ブロッコリーは、定植後の低温や曇天雨、また、晴天時には高温多湿状態となり、病気の原因となるカビの発生が増加傾向にありました。特に黒すす病は、著しく商品価値を低下させるため、定期的な防除が必要です。

## 令和3年産の振り返り

雨と強風により多発します。被害が出た圃場での連作は避け、アブラナ科以外の品目で輪作を行うようにしてください。また、多湿条件下で発病が多発するため、明渠の設置やトンネル換気を励行し、湿度を下げる対策を心掛けましょう。



写真3 黒すす病(茎の病斑)

発病した葉には褐色小斑点および円形〜楕円形の輪紋病斑が形成されます。やがて病斑中央部に穴が開き、病斑周辺は黄色になります(写真2③)。また花蕾は黒色の小斑点を生じた後、病斑が拡大して黒褐色に腐敗します。病斑部には黒色のカビが密生します(写真4⑤)。

出蕾前に葉に病斑が発生すると、花蕾へ病斑が進展する可能性が高いことから、葉の発病を抑えるよう、表2の殺菌剤で予防散布を心掛けましょう。黒すす病と似た病害の「黒腐病」は、細菌病であり、葉に黄褐色でV字形の病斑を形成する点で区別できます。登録薬剤も異なるため、注意が必要です。



写真4 黒すす病花蕾の初期病斑

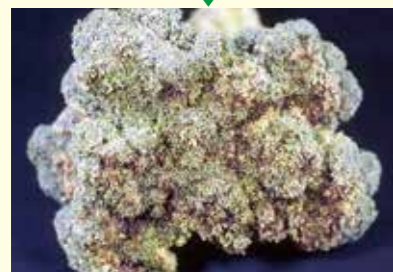


写真6 病斑が黒褐色に拡大

### 10月の分析経過について

合計18点	
多成分一斉分析	サラダ菜 ..... 1点
	ブロッコリー ..... 1点
	秋冬ネギ ..... 5点
	秋冬ニンジン ..... 2点
	秋冬ニンジン ..... 1点 (緑の風)
	サトイモ ..... 5点 (緑の風)
	ハクサイ ..... 1点 (緑の風)
	葉ダイコン ..... 1点 (緑の風)
	ユズ ..... 1点 (緑の風)
残留農薬分析点数	合計20点

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

表2 ブロッコリーの「黒すす病」に登録のある殺菌剤

薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数	特性			他の適用病害
				予防	治療	浸透移行	
アミスター20フロアブル	2000倍	収穫3日前まで	3回以内	○	○	○	べと病
アフェットフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	○	△	△	菌核病
パレード20フロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	○	△	△	菌核病

# 農業

# テクニカルダイアリー

# トウモロコシ

グリーンプラザ 営農指導員 三枝 宏禎



## 畑の準備(施肥)

表1を参考に、元肥は生育後半に肥料切れしないような施肥設計にしましょう。特に生育初期の肥料切れは厳禁です。肥料切れすると穂重に影響しやすく、先端不稔や充実(着粒)不良の発生リスクも高くなるため、注意してください(特に力リ不足)。

堆肥や石灰類などの改良資材は、播種1カ月前に施用して肥効を高めます。また、施肥量は土壌診断結果に基づき、施肥量不足や施肥過剰にならないよう注意しましょう。土壌中のpHが低いと、短稈となり、収量が大幅に減収する可能性があります。

## 中間管理(追肥)

肥料は栽培期間を通して安定して効かせましょう。肥切れすると下葉の黄化や、収穫時に雌穂の先端が露出する「飛び出し」の原因にもなります。



写真1 トウモロコシ雄穂の抽出

1回目の追肥は、本葉5枚ごろ(播種後30日、草丈30cm)が目安に窒素成分で5kgを施用します。播種後40日を過ぎると幼穂の形成が始まるため、この時期の肥効が品質・収量に大きく影響します。

2回目は、雄穂抽出初期に同じく窒素成分で5kgを目安に追肥します。作業上、1回しか追肥ができない場合は、トンネル除去時(草丈約50cm、膝丈のころ)に窒素成分で10kgを目安に施用しましょう。

雄穂抽出時期は、穂に効かせるための最終タイミングとなるので、追肥の適期を逃さないようにしましょう。天候不順時は、液肥や葉面散布剤を使用することで、草勢の回復を行います。

## ●無除けつ

早生品種は草丈が低く、葉数が少ない傾向にあります。そこで株元から出る分けつ茎を取らずに残し、葉数を多くして光合成産物が主茎に移動するよう促しましょう。また、根量が多くなることで、倒伏を防ぐとともに、雄花の充実を良くして受粉を助けることにもつながります。ただし、極端に大きく、雌穂を持った場合は除去しましょう。

## ●除房(早生品種)

主茎の最上部の房を残し、その下の房は早めに除去します。除房の時期は絹糸抽出初期(ベビーコーンサイズ)が適期です。

## ●無除房(中早生品種)

除房しても穂は5〜10%程度しか大きくならず、除房作業中に葉を折ってしまった場合は8%程度減収する可能性があります。葉があるので、注意が必要です。葉は10枚程度しかないので、1枚1枚が重要です(栄養状態の良い場合は2番穂も収穫できる可能性があります)。

表1 トウモロコシの施肥例(10アール当たり)

	肥料名	成分	施肥量	備考
元肥	【標準タイプ】 とうもろこし専用	14-10-10	160kg	2種類のうち、どちらかを選んで施用してください。
	【リン酸+加里過剰地タイプ】 L型ジシアン588	15-8-8	150kg	
	苦土重焼燐	0-35-0	40kg	
	粒状セルカ	アルカリ分47%	100kg	
追肥	マルチサポート2号	総合微量要素	60kg	トンネル除去時
	NKグリーン30	16-0-14	60kg	

## 「営農情報メール」配信中!

作柄情報、病害虫対策、青果物概況、イベント案内など、営農に役立つ最新情報をお届けします。

↓登録はこちらから(登録無料)



JA山武郡市の組合員ならどなたでも登録できます。